



ひだまり



R7年度第5号

令和7年9月5日 文責: 鶴田英子

教育目標：ふるさとを愛する自立（自律）した阿村っ子の育成

大雨の被害 心からお見舞い申し上げます

この度の大雨で被害に遭われた皆様には心からお見舞い申し上げます。

8月11日。信じられない量の大雨が降り、あっという間に道路が冠水。道路を泥水が流れ、泥水が家に迫ったり、入ってきたり、近くの山が土砂崩れしたりと、この阿村でも甚大な被害がありました。被害に遭われたり、親戚や知り合いが被害に遭ったりして、災害復旧に携わられた方も多かったことと思います。猛暑の中、災害復旧に携わられた皆様、体調を崩されなかったでしょうか。まだ、これからも復旧にご尽力される皆様、暑い日が続きますので、どうぞ無理をされないでください。

ピンチはチャンス

子供達のご家庭の中にも大きな被害に遭われたところがありました。その保護者の方から、お様が「床下を拭いてくれて助かったんです」「掃除をたくさんしてくれました」という話を聞きました。また、子供の中には、道路にたまった泥を取り除く手伝いをしたという子もいました。自分の家や地域のために自分にできることをした子供達は、「ひ：人の役に立つ」喜びと心の成長を得たことと思います。

ピンチはチャンスです。このようなときこそ、みんなで心を一つにし、力を合わせていきたいと思います。始業式でも「助け合い、励まし合い、よろこばせごっこ大作戦で、笑顔いっぱい阿村小にしよう」と呼びかけました。

阿村小も、体育館、児童玄関、トイレに泥水がたまり、運動場にもドロドロの赤土がたまっていました。2学期が安全にスタートできるように、職員で泥の除去や清掃をしました。また、坂本和子元校長先生や前垣先生等、他校の先生方もたくさん来て手伝ってくださいました。行政にもお願いし、体育館のワックスがけや運動場の泥の除去などをしていただきました。

保護者の皆様には、親子美化作業で赤土の除去をしていただき、本当にありがとうございました。おかげで、子供達がよく通る場所がきれいになりました。

本当にたくさんの方々に助けていただき、2学期を迎えています。感謝の気持ちを忘れず、これからの教育活動を充実させていきたいと思います。

